

井上正鉄 神道家。禊教を開いた。

いのうえまさかね

異学の禁・・・1790 =

江戸浜町館林藩主秋元但馬守永朝の邸内で、安藤市郎左衛門真鉄の次男に生まれる。母は伊予今治の藩士井出久兵衛の女で千代子。幼名は喜三郎。

松平定信引退1793 = 3歳 :

幼くして、富田家(本姓井上)の養子となる。

蝦夷地直轄始1799 = **9歳** :

阿船狼藉・1807 = 17歳 : この頃、修業に出て、

アト号事件 1808 = **18歳** :

卜占・医学などを学び、

さらに、白川流神道の伝授を受けて、模祓の法・調息の法を体得し、

杉田玄白没・1817 = **27歳** :

水野忠成老中1818 = 28歳 : 上総の久留里藩士安西常助の三女糸子を妻とする。

・・・・・・1826 = **36歳** :

滑稽+人情本 1835 = **45歳** :

大塩平八郎乱1837 = 47歳 :

勧進帳初演・1840 = 50歳 : *武蔵国足立郡梅田村の神主となり、一派の神道説をたて、その教説を宣布したが、

天保改革始・1841 = 51歳 : *異端な神秘主義であると幕府の取調べを受け、寺社奉行に拘引され、

天保改革弾圧1842 = 52歳 : *いったん許されたが、その後も信徒(門中)は増える一方だったことから、

順天堂始・・・1843 = 53歳 : *再び拘引されて、三宅島に流された。

天保改革終・1844 = **54歳** :

阿部正弘首座1845 = 55歳 :

在島中も島民を教化していたが、

北斎没・・・1849 = 59歳 : 謫所で没した。

明治11年(1878)に、門人らが遺骨を梅田村に改葬し、翌年、高弟坂田鉄安らによって、東京下谷に井上神社が建てられ、そこに祀られた。著書に、幕府に弁明書として提出した「神道唯、問答書」二巻のほか、「神道唯、一問答書継」「遺訓集」などがある。